MASPRO

CATV VUトランクアンプ

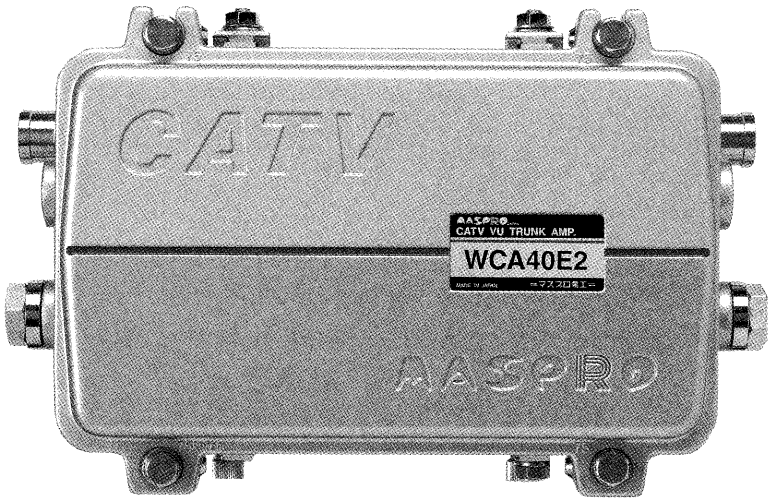
取扱説明書

VU TRUNK AMPLIFIER
伝送周波数帯域
76～108MHz, 170～222MHz, 470～770MHz

WCA40E2

AC20～30V方式

40dB型



MASter of PROduction
生産の覇者

優れた性能と機能

高出力

高性能パワーICと最新の回路技術により，UHFの最大出力レベルは，118dBμ（アナログ7波 ⊕ ディジタル9波伝送）と高出力ですから，地上ディジタル放送とアナログ放送の多チャンネルサイマル受信にも対応できます。また，VHF Low110dBμ，VHF High 115dBμと高出力ですから，強電界地域でも安心して使用できます。

低消費電力

効率のよいスイッチングレギュレーターと，マスプロ独自の低消費電力増幅回路を使用していますから，施設の電源供給器の使用数を少なくすることができます。

高信頼型避雷回路

応答速度の速いサージアブソーバーと，耐雷フィルターを使用していますから，25kV（1.2/50μs）の耐雷テストにも全く異常なく，誘導雷による被害を最小限にとどめます。

帯域別レベル調整

VHF Low・VHF High，UHFの各帯域別に入力レベル調整ATTと出力レベル調整がついていますから，システムに応じたレベル調整が簡単にできます。

電源受給電機構

入力端子，出力端子のどちらからでも，電流通過ジャンパーの操作によって，受電または給電できます。また，電源直接供給端子を備えていますから，電源供給器から直接受電することもできます。

● ご使用の前に，この「取扱説明書」をよくお読みください。
● お読みになったあとは，保存してください。

マルチメディアの
MASPRO
=マスプロ電工=

各部の名称と機能

ご注意

- ●レベルを調整するときは，調整用ドライバーを使用してください。無理に回すとこわれることがあります。
- ●各スイッチは軽く操作してください。力を入れすぎるとこわれることがあります。

入力レベル調整

ATT（0, 10dB）

UHF ch13～62 ・・・・・・・・・・10dB
VHF ch4～12 ・・・・・・・・・・10dB
FM・VHF ch1～3 ・・・・・・ 10dB

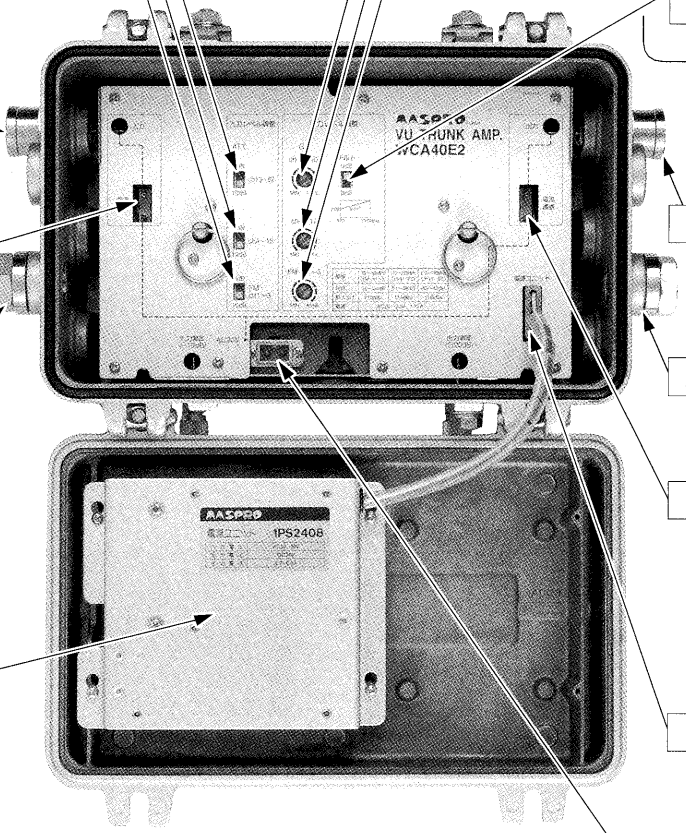
出力レベル調整

GC

出力レベルが0～㊀10dBの範囲で連続して調整できます。

UHF ch13～62
VHF ch4～12
FM・VHF ch1～3

チルト（0, 2dB）
2dB/470MHz



入力端子

入力電流通過ジャンパー

p.3「電流通過ジャンパーの操作」をご覧ください。

AC入力1

電源ユニット
（DC 24V 0.8A）

出力端子

AC入力2

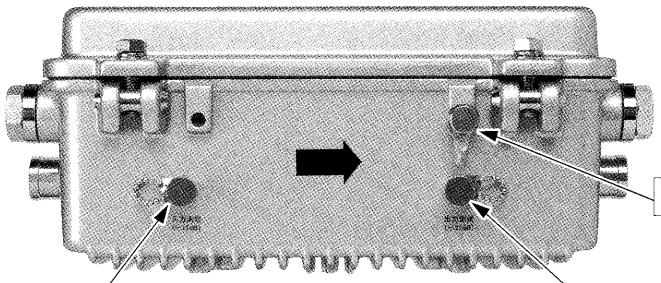
出力電流通過ジャンパー

p.3「電流通過ジャンパーの操作」をご覧ください。

電源ユニット接続端子

AC30V端子
（電源直接供給端子）

底面



アース端子

入力測定端子（㊀10dB）

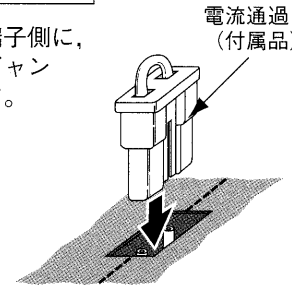
測定値は，入力レベル調整ATT通過前の値です。

出力測定端子（㊀20dB）

電流通過ジャンパーの操作

電流通過の設定方法

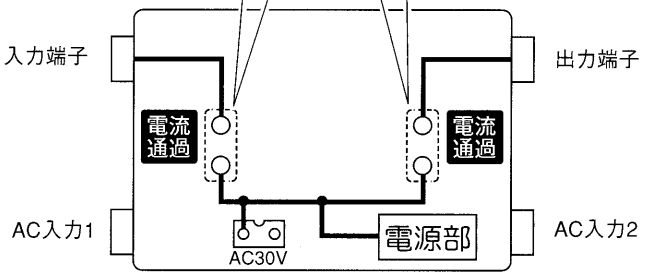
電流通過させる端子側に，付属の電流通過ジャンパーを接続します。



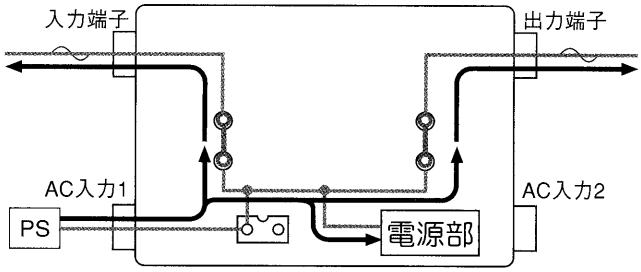
ご注意

- システムの電流通過系統の確認ができるまで，電源を供給しないでください。
- 電流通過ジャンパーは，電源供給中に操作しないでください。故障の原因となります。

電流通過系統図



電流通過機能の設定例

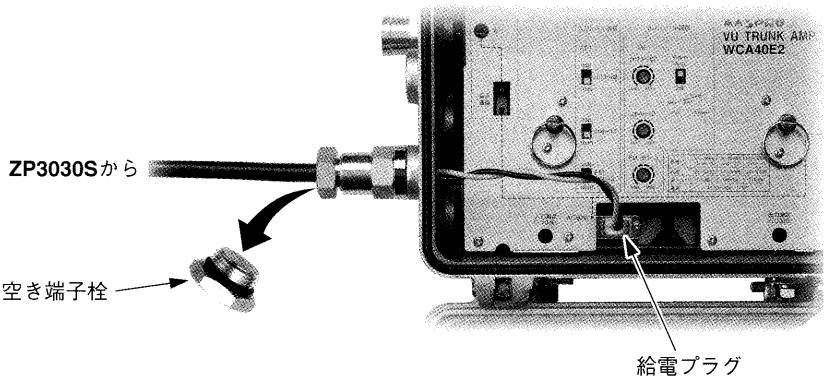


電流通過ジャンパー

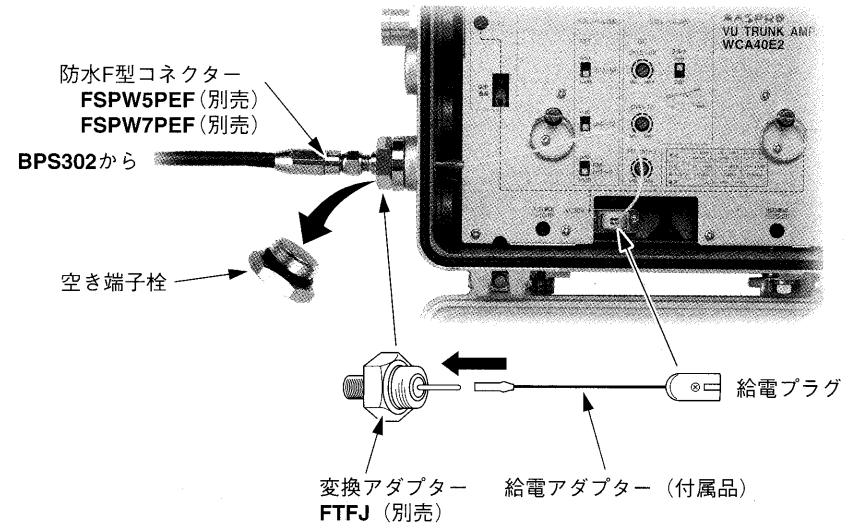
AC30V端子（電源直接供給端子）の使用方法

空き端子栓を外してください。
（写真はAC入力1から受電した例です。
AC入力2からも同様に受電することができます。）

電源供給器ZP3030Sの場合

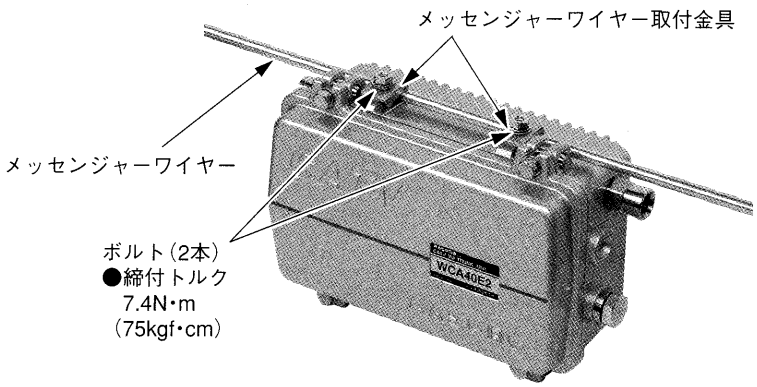


電源供給器BPS302の場合



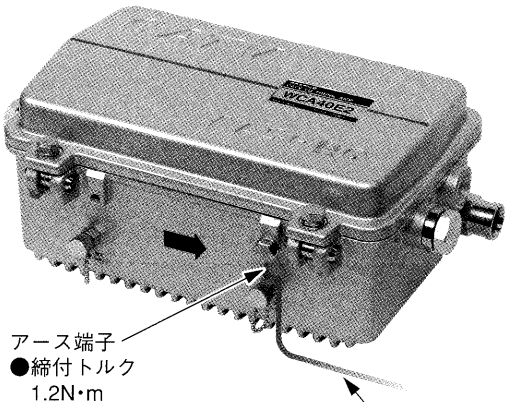
取付方法

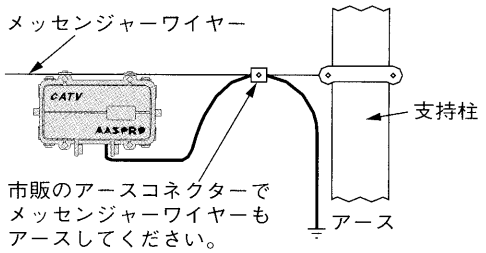
●メッセンジャーワイヤー取付金具にメッセンジャーワイヤーをはさみ，ボルト(2本)を13mmのトルクレンチを使用して，指定の締付トルクでしっかりと締付けてください。



●支持柱・腕金・板壁面に取付ける場合，取付金具**TMK120**(別売)を使用してください。
(詳しくは，**TMK120**の取扱説明書をご覧ください)

アース

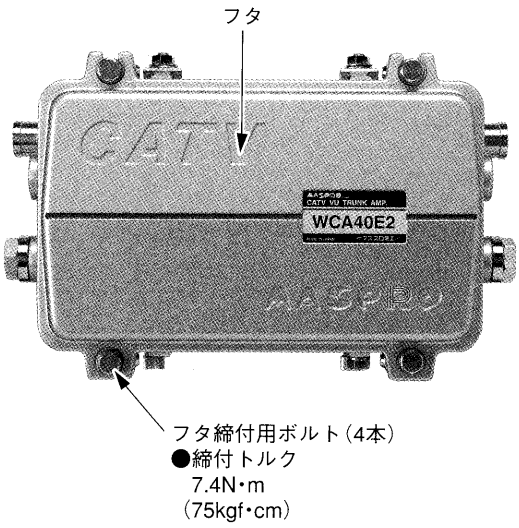




支持柱ごとにメッセンジャーワイヤーをアースすると，施設内の機器全体の避雷性能が向上します。

フタ締付用ボルト

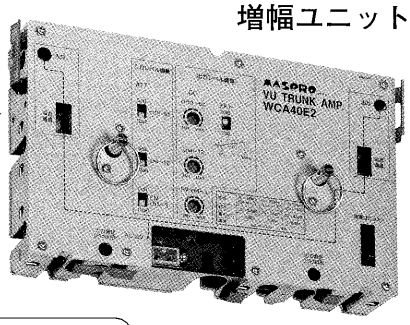
●フタをハウジング本体に，しっかり合わせてから，締付けてください。
●フタ締付用ボルト(4本)は，13mmのトルクレンチを使用して，指定の締付トルクで均等に締付けてください。

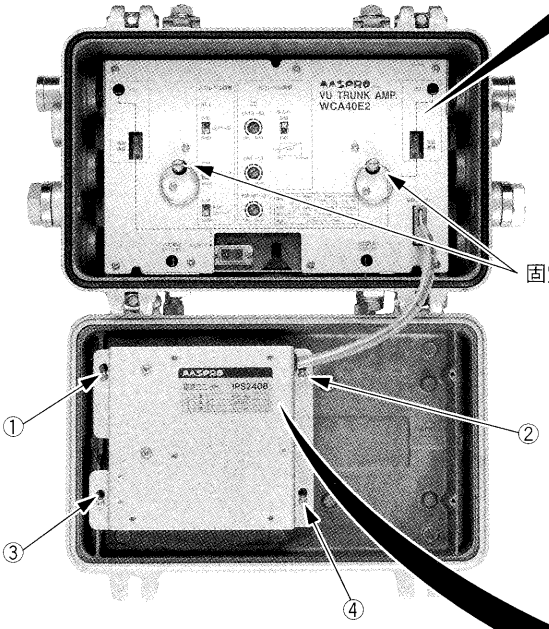


ユニットの交換方法

必ず，施設の電源を切ってから交換してください。

増幅ユニット





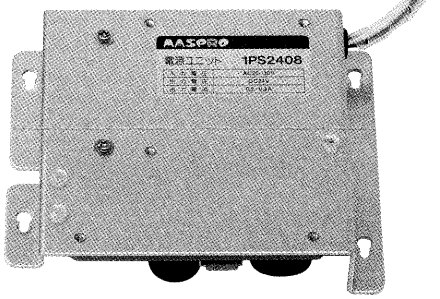
増幅ユニット

1. 電源ユニット接続コネクターと給電プラグを外してください。
2. 固定ボルトをゆるめて，引き出してください。
3. 新しい増幅ユニットと交換して，固定ボルトを指定の締付トルクで締付けてください。

●締付トルク
1.2N・m
（13kgf・cm）

電源ユニット
接続コネクター

電源ユニット



電源ユニット

1. 増幅ユニットから，電源ユニット接続コネクターを外してください。
2. ①②③④のビスをゆるめてください。
3. 新しいユニットと交換して，ビスを指定の締付トルクで締付けてください。

●締付トルク
1.2N・m
（13kgf・cm）

正しく使用していただくために

予定の出力レベル，あるいは，よい画質が得られないときは，次のチェックをしてください。

○ 電源
- ● 電源供給器の電源チェック
- ● 電源コネクター・給電アダプターのチェック
- ● 電流通過ジャンパーの確認

○ 電圧（AC20～30V）
- ● 電源供給器の電圧チェック

○ 入・出力レベル
- ● 測定端子での入・出力レベルのチェック
- ● 入・出力コネクターとケーブルの接続チェック
- ● ケーブルのチェック

入・出力レベルを測定するときのご注意

レベルを測定するときは，測定用75Ωケーブルの減衰量も加算してください。

S5CFV 15mの減衰量

周波数（MHz）	76	108	170	222	470	770
減衰量（dB）	0.8	1.0	1.3	1.5	2.3	3.1

実際のレベル ＝ 測定値 ＋ 測定端子結合量 ＋ ケーブル減衰量

以上の方法でもトラブルが解決できない場合，お近くの当社支店・営業所または本社技術相談までお問合わせください。

規格表 Specifications

MASPRO

項目 Items		規格		
伝送周波数帯域 Frequency Range		76～108MHz（FM・ch1～3）	170～222MHz（ch4～12）	470～770MHz（ch13～62）
伝送波数 Number of Transmission Signals		2波	5波	アナログ　7波 ⊕ ディジタル 9波　※
標準利得 Operating Gain		32～34dB	34～36dB	40～42dB
入力レベル調整アッテネーター Input Level Control ATT		10dB（固定）	10dB（固定）	10dB（固定）
出力レベル調整範囲 Output Level Control Range	利得 Gain	0～⊖10dB以上（連続可変）	0～⊖10dB以上（連続可変）	0～⊖10dB以上（連続可変）
	チルト Tilt	————	————	最大2dB／470MHz ［0,2dB切換（770MHz基点）］
周波数特性 Response Flatness		±1dB以内		
利得安定度 Temperature Stability		±1dB以内		
雑音指数 Noise Figure		7dB以下		
入・出力インピーダンス Input / Output Impedance		75Ω（FT型コネクター）		
VSWR		1.5以下		
最大出力レベル Maximum Output Level		110dBμ	115dBμ	118dBμ　※
		2次相互変調⊖55dB以下， 2nd Order Intermodulation	混変調⊖46dB以下 Cross Modulation	混変調⊖46dB以下 Cross Modulation
ハム変調 Hum Modulation		⊖60dB以下		
不要放射 Radiation		34dBμ/m以下		
測定端子結合量 Tap Value of Test Point		入力⊖10dB（F型コネクター），出力⊖20dB（F型コネクター）		
使用温度範囲 Temperature Range		⊖20～⊕40℃		
電源 Power Requirements		AC 20V 0.8A，AC 25V 0.7A，AC 30V 0.6A		
消費電力 Power Consumption		17VA		
外観寸法 Dimensions		199（H）×310（W）×129（D）mm		
質量（重量） Weight		約4kg		
シンボル Symbol		▷		

※ ディジタル9波は⊖10dB運用

マスプロの規格表に絶対うそはありません。
ご理解と信頼のあるデータにご期待ください。

付属品

電流通過ジャンパー　・・・・・・・・・・ 3個（予備1個含む）
給電アダプター　・・・・・・・・・・・・・ 1個

製品向上のため 仕様・外観は変更することがあります。

マルチメディアの
＝マスプロ電工＝

本社〒470-0194（本社専用番号）愛知県日進市浅田町
営業部 TEL名古屋（052）802-2244
工事営業部 〃 （052）802-2225
技術相談 〃 （052）805-3366
インターネットホームページ www.maspro.co.jp

支店・営業所

沖縄	（098）854-2768	熊本	（096）381-7626
鹿児島	（099）812-1200	長崎	（095）864-6001
宮崎	（0985）25-3877	福岡（支）	（092）531-3861
		北九州	（093）941-4026
下関	（0832）55-1130	津	（059）234-0261
徳山	（0834）32-2954	岐阜	（058）275-0805
広島	（082）230-2351	名古屋（支）	（052）802-2233
松江	（0852）21-5341	工事営業部	（052）804-6262
岡山	（086）252-5800	豊橋	（0532）33-1500
松山	（089）973-5656	静岡	（054）283-2220
高知	（088）882-0991	松本	（0263）57-4625
高松	（087）865-3666		
姫路	（0792）34-6669		
神戸	（078）843-3200	福井	（0776）23-8153
大阪（支）	（06）6635-2222	金沢	（076）249-5301
工事営業部	（06）6632-1144	新潟	（025）287-3155
京都	（075）646-3800		
横浜	（045）784-1422	郡山	（024）952-0095
渋谷（支）	（03）3409-5505	仙台	（022）786-5060
工事営業部	（03）3499-5631	盛岡	（019）641-1681
青戸	（03）3695-1811	秋田	（018）862-7523
八王子	（0426）37-1699	青森	（017）742-4227
千葉	（043）232-5335	函館	（0138）53-7355
さいたま	（048）663-8000	札幌	（011）782-0711
前橋	（027）263-3767	釧路	（0154）23-8466
水戸	（029）248-3870	旭川	（0166）25-3111
宇都宮	（028）660-5008	北見	（0157）61-0480

SEP.,2003

MASter of PROduction
生産の覇者

2K55-556
B-39-4556-1L